

# エジプト・アラブ共和国訪問をおえて

岡山県立水島工業高等学校 1年 赤木頌汰

この度のエジプト訪問では、たくさんの遺跡を見学して、異文化に触れたことで多くのことを学びました。

まず、飛行機で降り立ったカイロ空港は、砂漠の中に滑走路があり、そこに到着し、驚きと共にこれからの日程が楽しみになりました。最初に訪れた博物館では、現地で見たツタンカーメンの黄金のマスクのすごさに圧倒され、他の展示物の説明も詳しくきけて良かったです。ルクソールでは、エジプトで人気の飲み物だときいたドームと言う名の飲み物をふるまわれましたが、異食文化だと感じる味でした。その後、宿泊もするナイル川クルーズでは、日本では、決して体験できないナイル川の豪華客船によるクルージングできれいな夕日を見たり、途中下船をし、馬車に乗り遺跡を見てまわったりしました。バザールという市場では、簡単な日本語で商売をすることにびっくりし値段の交渉などを楽しんだりとすばらしい体験となりました。最終日には、ピラミッドの外も中も見学でき、目の前で見ることでは感じられない感動がありました。

また、数日間を通じて、エジプトの人々のやさしさとポジティブな対応が元気をくれ、嬉しく思いました。

エジプト訪問を通じて、地域に貢献すると共に国際社会で共に生きていく意識をもつことが大切であると感じ、他者を思いやる気持ち、助け合う力と心を学びました。大変な事があっても前に進む力をもらえた旅となりました。

